

非文字資料研究

The Study of Nonwritten Cultural Materials

News Letter

2007.6
No.16

CONTENTS

特集

公開研究会

「人びとの暮らしと生業 『日本近世生活絵引』
作成への問題点をさぐる」を振り返って

A Look Back at the Workshop on
Obtaining Historical Information from Pictures

How to Use Pictorial Materials in Historical Studies 1

『日本近世生活絵引』の作成をめざして…………… 3

近世の北陸農村と松前地漁村
の人びとの暮らしと生業

Life and Work of Hokuriku and Hokkaido in Edo Era

田島 佳也 TAJIMA Yoshiya

How to Use Pictorial Materials in Historical Studies 2

生活絵引と菅江真澄…………… 17

Pictorial Explanation and SUGAE Masumi

菊池 勇夫 KIKUCHI Isao

How to Use Pictorial Materials in Historical Studies 3

「人びとの暮らしと生業」に参加して…………… 18

舟山 直治 FUNAYAMA Naoji

How to Use Pictorial Materials in Historical Studies 4

鳥瞰の視線を考える…………… 20

『生活絵引』作成における歴史学、
民俗学と美術史学の合流点をめぐって

池田 貴夫 IKEDA Takao

How to Use Pictorial Materials in Historical Studies 5

アイヌ民俗図資料の見方…………… 22

児島 恭子 KOJIMA Kyoko

How to Use Pictorial Materials in Historical Studies 6

『農業図絵』にみる喫煙とジェンダー…………… 23

長島 淳子 NAGASHIMA Atsuko

研究エッセイ

ESSAY

幻の「満洲国」建国神廟を復原する…………… 24

Restoration of a Manchurian Shrine

津田 良樹 TSUDA Yoshiki

コラム Column…………… 26

「虹」と「市」

小野地 健 ONOCHI Takeru

コラム Column…………… 27

キリスト教と現代日本人の生活

曹 榮 CAO Rong

2007年度研究担当者紹介…………… 28

主な研究活動…………… 29

受贈資料一覧…………… 30

彙報…………… 31

Information…………… 32

表紙
写真
説明



神奈川大学工学部のふいご祭 The Blacksmith Festival

かつて鍛冶職人は旧暦11月8日に、ふいご祭という祭を行っていた。仕事場をきれいに掃除し、仕事道具であるふいご（送風器）に注縄を張り、神官を呼んで無事故と商売繁盛を祈ってもらい、その後親族や弟子を呼んでささやかな宴を持ち、隣近所にみかんを配ったという話は今でもあちこちで聞くことができる。この祭は鍛冶職人のみでなく、鉄の細工に関わる人たちの中で行われてきた祭事であり、石工もしばしば行っていた。石工は携帯可能な小さなふいごを持っており自分の工具はそれを使って自ら焼き入れや修理をしていたからである。さまざまに鉄に関わる人たちの祭といつてよい。

そして、その伝統は現在の大学においても引き継がれている。写真は2006年11月9日にとり行われた神奈川大学工学部におけるふいご祭。本学に機械工学科がおかれていることによる。ふいご祭の手前の写真は機械工学センターNCI作業実習室。ある意味で現代社会における「鍛冶場」のひとつの姿であろう。

当日は神奈川大学の近くの熊野神社の宮司さんをお願いし、工学部長、事務局代表、機械工作科主任、機械工作センター責任者などが玉串奉奠。神事のあとは五十名ほどの列席者で直会（なおりい）の宴をもつ。私が十余年前に調べた時点では、金工の彫刻がカリキュラムの中にある武蔵野美術大学や東京芸術大学でも行われていた。その諸経費は、正規の大学の予算の中に計上され、とり行われている例が多い。（撮影 本田 広幸、2006年11月）

（香月 洋一郎）